

# 主体的・対話的に学ぶことができる授業のあり方

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 理数・自然科学系（数学）

寺島 文也

社会的背景や教育的背景から、学校教育には他者と協働して課題を解決する力の育成や、学習意欲の向上が求められていると考え、主体的・対話的に学ぶことができる授業のあり方について考え、実践を行った。

一年次の実践実習では、児童が考える時間を大切にしたり、児童の考えを基にして発問を行ったりすることで、主体的・対話的な学びの実現を目指した。

結果として、児童の「こうしたい」という思いを生かしたり、児童同士での横の対話での学びを目指したりすることが必要であるという反省を得た。

二年次の実践実習では、児童が自然と問いを持つことができる導入をしたり、他の児童の考えについて深く考えさせたりすることで、主体的・対話的な学びの実現を目指した。

結果として、児童に疑問や問いを与えつつも、授業内容から逸脱しない導入を組み上げることの難しいことや、児童の考えが出てくるような発問をしなければ、問い返すことはできないものであるという反省を得た。